

授業概要

本授業は、子どもの心理社会的課題への取り組みや学校生活における問題解決を支援する心理教育的援助サービスの理論と実践の体系について講義します。具体的には、受講生が現代の学校教育過程において一人ひとりの子どもが会う様々な課題や諸問題及びその背景について理解し、心理教育的援助サービスの方法やその実践に関する基礎的な知識及びコミュニケーションスキルを習得することを目指します。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション ～授業の目的と進め方の説明～
第 2 回	学校心理学とは ～定義、周辺概念との異同、意義や特質について～
第 3 回	心理教育的援助サービス① ～3 段階の心理的援助サービス～
第 4 回	心理教育的援助サービス② ～4 種類のヘルパーと援助の場～
第 5 回	心理教育的援助サービス③ ～心理教育的アセスメントの理論と実際～
第 6 回	心理教育的援助サービス④ ～カウンセリングにおける 3 つの基本的態度、傾聴～
第 7 回	心理教育的援助サービス⑤ ～カウンセリングにおける 3 つの関わり～
第 8 回	心理教育的援助サービス⑥ ～チーム学校、援助チームの特性と意義～
第 9 回	心理教育的援助サービス⑦ ～多職種連携・協働に必要な力、守秘義務～
第 10 回	心理教育的援助サービス⑧ ～危機管理と介入～
第 11 回	学校をめぐる諸問題① ～子どもの課題 1：不登校、いじめ～
第 12 回	学校をめぐる諸問題② ～子どもの課題 2：非行、発達障害～
第 13 回	学校をめぐる諸問題③ ～家庭の課題：児童虐待、家庭の危機、子育て不安～
第 14 回	学校をめぐる諸問題④ ～教師・学級の課題：教師の性質と期待、バーンアウト～
第 15 回	まとめ ～こころの専門家に求められる学校現場での態度や能力及び課題と可能性～
第 16 回	筆記試験

到達目標

到達目標は、以下の 3 点とします。

- ①学校における心理教育的援助サービスに関する基礎的な知識やスキルを説明できる
- ②学校心理学の枠組みを理解し、それに基づき子どもや学校に関わる諸問題と背景について説明できる
- ③学校教育現場で求められる基本的な態度やコミュニケーションスキルを理解し日頃から意識できる

履修上の注意

本講義では、以下の点にご留意ください。

- ・授業への大幅な遅刻や早退は欠席とみなすことがあります
- ・他の受講生が授業を受ける権利を奪う行為を禁止します
- ・基本的には講義中心で進めますが、ランダムでご自身の意見や感想を述べていただきます
- ・適宜グループワークや討論を行って頂きますので、主体的・積極的な参加態度が求められます
- ・毎回の講義後にリアクションペーパーを提出して頂きます

予習・復習

授業で配布される資料や紹介された参考図書・視覚教材を用いて予習・復習を主体的に行い、学びを深めること。授業中に取り扱ったテーマや学校教育全般に関連する最新ニュースに関心を向けること。

評価方法

授業参加態度（20%）、リアクションペーパー（30%）、筆記試験（50%）によって評価します。

テキスト

特に指定しません。適宜授業中に参考図書や文献等を紹介します。